

教材教具名	やることカード
対 象	中学部
領域・教科	自立活動
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真カードでのやりとりを通して、意思を表出する力や状況を把握する力を身に付けるようにする。</li> <li>・コミュニケーションの手段が増えることで、身近な人への要求をしたり指示を理解したりできるようにし、人間関係の幅を広げる。</li> </ul>
使用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真カードは、身近な活動が写ったものを用意する。</li> <li>・活動時に写真カードを確認することで、カードと活動を結び付ける。</li> <li>・写真カードを順に並べて提示すると手順表になり、一枚だけ提示すると「この活動をしましょう」という指示に使う。また、複数まとめて提示して、生徒自身が活動内容を選ぶ。</li> </ul>
材料（素材）	木の板、ホワイトボード、写真カード、マジックテープ マグネットシート
写 真	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>↑手順表としての使用例</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>↑自分で活動を選ぶときの使用例</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <p>↑身近な活動の例「おちゃをのむ」と「トイレに行く」カード。全15種類ある。</p>